



# 芦屋室内合奏団

## 第20回定期演奏会

1986 . 11 . 16(日) PM. 2 : 00  
松蔭女子学院大学チャペル  
主催 / 芦屋室内合奏団



## プログラム P R O G R A M

- 1 W. A. モーツァルト……………喜遊曲 変口長調 K.137  
W.A.Mozart ……………Divertimento B dur K.137
  - 2 G. F. ヘンデル……………合奏協奏曲 ト短調 Op.6 No.6  
G.F.Händel……………Cocert Grosso g moll Op.6 No.6
- 
- 3 J. スーク……………弦楽セレナード Op.6  
J.Suk……………Serenade for String Orchestra Op.6

## プロフィール

### ◎ 指揮者 酒井睦雄

桐朋学園高校音楽科を経て昭和46年桐朋学園大学卒業。その間、クラリネットを北爪利世、二宮和子、F.フックス各氏に、指揮を故斉藤秀雄氏、秋山和慶の両氏に師事。昭和46年より相愛オーケストラ、49年より芦屋室内合奏団指揮者、岐阜県交響楽団常任指揮者。昭和52年、ザルツブルクにてO.スイトナー氏に師事、同年、東京にてS・チェリダッケ氏のゼミナールに参加。現在、相愛大学助教授。

### ◎ 芦屋室内合奏団

昭和40年に中島良能を中心とし、神戸大学交響楽団員及びOB14名によって結成、団長橋本宗夫宅を本拠として、年一回の定期演奏会を中心に地味ながら息の長い活動を続けている。延原武春、M.Shoe-makerらを指揮に迎えたが、昭和49年から酒井睦雄を指揮者として、コレリからブリテンにいたるまで、古今の室内楽曲を楽しむほか、知名度の低い曲を紹介するなどユニークな活動を行う。会社員、公務員が主であり夫妻で参加のメンバーも多いため、転勤でもあれば1度に2人の団員が去る困難に耐えつつ、月2回の練習を越えた家族的雰囲気も特色である。

## 今日の演奏曲目について

### 1 モーツァルト デイベルティメント(喜遊曲) 変ロ長調 K.137

モーツァルトは若冠16歳の1772年、郷里のザルツブルグで、有名なK.136(二長調)、後のK.138(へ長調)とこのK.137の3曲の喜遊曲を作曲した。彼の他の喜遊曲と異なって、3曲とも弦5部のみの編成をとり、作曲のいきさつや目的ははっきりしていない。K.136の二長調以外はあまり演奏されることはなく、特にこのK.137は、全楽章同じ調で、緩徐楽章から始まり、アレグロが2つ続くという他に例を見ない構成をとっていて、そのなじみにくさのせいか、もうひとつ人気がないようである。とは言え、そこは天下の天才児、若い彼の才気にあふれた煥発なメロディーと機知が随所にちりばめられており、室内楽愛好者の間では根強い人気作品である。また、かつてNHKのドラマのテーマに第2楽章が用いられたことがあるのでご存じのかたも多いと思う。

構成は、アンダンテ/アレグロ・ディ・モルト/アレグロ・アッサイの3楽章だが、今日は一部で解釈されているように、アレグロ/アンダンテ/アレグロの順で演奏する。演奏時間は約15分。

### 2 ヘンデル 合奏協奏曲 ト短調 作品6 第6

ビバルディやコレリに多くの作品が見られ、当時大変に人気の高かったコンチェルト・グロッソというのは、グロッソ(弦楽合奏)に、コンチェルティーノ(独奏者群)が加わり、双方が協奏する形で、すなわち「合奏協奏曲」である。ヘンデルも、生涯におよそ30余曲の合奏協奏曲を作曲しており、この第6番は、1740年に「Twelve grand Concerts」という標題で出版された12曲の合奏協奏曲の第6曲目である。12曲とも、独奏者として2つのバイオリンと1つのチェロが加わる弦楽合奏で、5~6楽章からなる古い組曲の形式で緩・急・緩・急の規則に従い、フリギヤ終止で早いテーマを導くのが常套となっている。この第6曲もその曲型に従い、ラルゲット・エ・アフエトウオソからフリギヤ終止を経て第1楽章が始まって、アレグロ・マ・ノン・トロppo/ラルゲット/アレグロ/アレグロと続く5楽章からなる。いずれも当時の弦楽合奏としては重厚な作風と綿密な計算に支えられた印象的な構造をもっているが、ヘンデルの自筆楽譜にオーボエ・パートが書き込んである第1、2、5、6番のうち、2番以外はオルガン協奏曲として演奏されたという説もある。

### 3 スーク 弦楽セレナード Op. 6

ヨーゼフ・スーク(1874~1935)は、ボヘミア(チェコスロバキア)生まれの作曲家で、元はバイオリン奏者であったが、のち師ドボルザークにみとめられ作曲家となる一方、弦楽四重奏団(ボヘミア弦楽四重奏団)を組織したり、プラハ音楽院の教授をつとめた人である。またあの同名の名バイオリニストの祖父にあたる。その才気にあふれる甘美な作風の代表作が本曲であり、他にもバイオリンと管弦楽のための幻想曲、交響曲「アスラエル」、交響詩「円熟」などがときたま演奏される。

ドボルザークがプラハ音楽院の教授をしたのは1891年と1892年だけで、その最後の年にこの曲が完成している。スーク18歳の年である。音楽院の後輩には我が国オーケストラの蒼創期に來日して日本交響楽協会(現NHK交響楽団)や新交響楽団を指揮・指導したヨゼフ・ケーニヒもいた。スークはこの曲を、師に「君の曲は暗すぎる。若々しい生き生きとした曲を書いたらどうか」と言われてかいたという。おかげで、豊富な美しいメロディーと色彩的なハーモニーに満ちた名曲となった。これを初めて聴いたブラームスの薦めによりベルリンで楽譜が出版されることとなり、おかげで(?)師の娘オットイリエとめでたく結婚、となった。義父は1904年(6年後)に、また妻が1905年(7年後)に先立たれる不幸があったが、こういう師、義父、先輩、孫に恵まれてみたいものである。

曲は4楽章からなり、第1楽章は妙なる雰囲気をもったアンダンテ、第2楽章は軽やかなワルツ風のアレグロ、第3楽章はいかにもスラブ風のアダージョ、第4楽章は躍動するアレグロ、という構成である。わが団でも故M.シュウメイカー氏の指揮で一度定期演奏会に発表したことがあるが、難曲ながら魅力的な雰囲気は長く耳をはなれることがない。

芦屋室内合奏団定期演奏会の歩み

第1回 1966年3月 芦屋市民会館

コレリ……………クリスマス協奏曲  
 ビバルディ……………四季より「春・夏」  
 バッハ……………ブランデンブルグ協奏曲 No.5  
 モーツアルト…ディベルティメント K.136  
 指揮 中島良能

第2回 1967年1月 芦屋市民会館

バッハ……………バイオリン協奏曲 No.2  
 ビバルディ……………四季より「秋」  
 レスピーギ……………リュートのための古代舞曲とアリア  
 パーバー……………弦楽のためのアダージョ  
 指揮 中島良能  
 バイオリン 鈴江苑生

第3回 1967年7月 芦屋市民会館

ビバルディ……………合奏協奏曲 OP. 3-11  
 バッハ……………ピアノ協奏曲 No.1  
 チャイコフスキー・弦楽のためのセレナード  
 指揮 中島良能

第4回 1968年2月 芦屋市民会館

コレリ……………サラバンド ジーグ バディヌリ  
 バッハ……………オーボエとバイオリンのための協奏曲  
 モーツアルト…オーボエ四重奏曲 K.370  
 プリテン……………シンプル・シンフォニー  
 指揮 宮本政雄

第5回 1968年11月 芦屋市民会館

ビバルディ……………四季より「冬」  
 ボッケリーニ…チェロ協奏曲  
 モーツアルト…ディベルティメント K.138  
 指揮 中島良能

第6回 1969年9月 芦屋市民会館

パーセル……………組曲「アプデラザール」  
 パーセル……………トランペットと弦楽のためのソナタ  
 テレマン……………3つのバイオリン、楽と通奏低音のための協奏曲  
 指揮 延原武春

第7回 1971年11月 夙川公民館

ヘンデル……………合奏協奏曲 OP. 6-12  
 ビバルディ……………合奏協奏曲 OP. 3-12  
 ドボルザーク…弦楽のためのセレナーデ  
 指揮 奥田伸吾

第8回 1972年11月 芦屋カトリック教会

ビバルディ……………調和の靈感 OP. 3-10  
 ビバルディ……………調和の靈感 OP. 3-3  
 バッハ……………ブランデンブルグ協奏曲 No.3  
 モーツアルト…戴冠ミサ曲  
 指揮 M. H. Shoemaker

第9回 1973年12月 芦屋市民会館

コレリ……………合奏協奏曲 OP. 6-1  
 グリーグ……………ホルベルグ組曲  
 スーク……………弦楽のためのセレナーデ OP. 6  
 指揮 M. H. Shoemaker

第10回 1974年5月 芦屋仏教会館

コレリ……………合奏協奏曲 OP. 6-7  
 バッハ……………2つのバイオリンのための協奏曲  
 ヘンデル……………合奏協奏曲 OP. 6-5,9  
 指揮 M. H. Shoemaker

- 第11回 1975年5月 芦屋仏教会館  
 パーセル……組曲「アプデラザール」  
 モーツァルト…ディベルティメント K.136, K.138  
 ビバルディ……四季より「春・夏」  
 ヘンデル……合奏協奏曲 OP. 6-6  
 指揮 酒井 睦 雄  
 バイオリン 曾我部 千恵子
- 第12回 1977年6月 芦屋仏教会館  
 ビバルディ……四季より「秋・冬」  
 テレマン……組曲 イ短調  
 レスピーギ……リュートのための古代舞曲とアリア  
 バッハ……組曲 第2番  
 指揮 酒井 睦 雄  
 フルート 白井 美和子
- 第13回 1978年12月 芦屋仏教会館  
 コレリ……合奏協奏曲 OP. 6-1  
 ヘンデル……合奏協奏曲 OP. 6-1  
 モーツァルト…アダージョとフーガ K.546  
 グリーグ……ホルベルグ組曲  
 指揮 酒井 睦 雄
- 第14回 1979年11月 芦屋仏教会館  
 ヘンデル……合奏協奏曲 OP. 6-3  
 エルガー……弦楽のためのセレナーデ OP. 20  
 ドボルザーク…弦楽のためのセレナーデ OP. 22  
 指揮 酒井 睦 雄
- 第15回 1980年11月 芦屋仏教会館  
 モーツァルト…ディベルティメント K.136  
 ホルスト……弦楽のための組曲「セントポール」  
 ボッケリーニ…チェロ協奏曲  
 モーツァルト…セレナータ・ノットェルナ K.239  
 指揮 酒井 睦 雄  
 チェロ 斎藤 達 男
- 第16回 1981年11月 芦屋仏教会館  
 ビバルディ……合奏協奏曲 OP. 3-11  
 ヘンデル……合奏協奏曲 OP. 6-5  
 バッハ……プレリュード ロ短調  
 コレリ……合奏協奏曲 OP. 6-6  
 バルトーク……ジーベンブルゲンの踊り  
 指揮 酒井 睦 雄
- 第17回 1982年11月 松蔭女子学院大学チャペル  
 モーツァルト…喜遊曲 K.136  
 モーツァルト…クラリネット五重奏曲 K.581  
 モーツァルト…喜遊曲 K.334  
 クラリネット/ 指揮 酒井 睦 雄
- 第18回 1984年11月 松蔭女子学院大学チャペル  
 テレマン……組曲「リラ」  
 ハイドン……自動オルガンのための3つの小品  
 ハイドン……オルガン協奏曲 第2番  
 ベールマン……クラリネットと弦楽五重奏のためのアダージョ  
 ニールセン……小組曲 OP. 1  
 レスピーギ……リュートのための古代舞曲とアリア 第3組曲  
 クラリネット/ 指揮 酒井 睦 雄  
 オルガン 鈴木 雅 明
- 第19回 1985年9月 松蔭女子学院大学チャペル  
 バッハ……ブランデンブルグ協奏曲 No.3  
 モーツァルト……クラリネット五重奏曲  
 モーツァルト…交響曲 第29番  
 モーツァルト…ディベルティメント K.136  
 クラリネット/ 指揮 酒井 睦 雄